

もせうし 議会だより



▲妹背牛消防出初式分列行進（1月7日）

おもな記事

- ◎第4回定例会一般質問 2～5ページ
- ◎議会のうごき 5ページ
- ◎主な議案審議から 6～7ページ
- ◎決算審査特別委員会
主なQ&A 8～9ページ
- ◎道外研修視察報告 10～11ページ
- ◎まちの声 12ページ

No.202

令和7年2月14日

発行

令和6年 第4回定例会

いっぱんしゅもん

12月17日に、5名の議員から町行政に対する一般質問がありましたので、要旨をお知らせします。

高齢者の運転免許証自主返納後の支援について

Q 高齢者運転免許証の自主返納時における支援サービスを妹背牛町でも整える考えがあるか伺う。

A 免許証を返納した場合の支援だと町民全体に対する生活の支援にはつながらないと考えている。



渡辺 倫代 議員

が受付を終了後も町で独自の補助を続けている。この件に関してもお考えを伺う。

総務課長

返納者に対する支援策については運転免許証をもともとお持ちでない方やすでに返納、もしくは更新をしなかつた方との公平を保つため、返納時に特化した商品券の配布などは実施していない。免許証を返納した場合に限った支援だと町民全体に対する生活の支援にはつながらないと考えている。急発進抑制装置などに対する支援事業については、交通事故防止に寄与できるものと考え、予算や必要性等含めて検討したい。

公設型学習塾の設置について

Q 公設型学習塾についてまだ設置に至っていないが、進捗状況を伺う。

A アンケート調査を行った。令和7年度予算計上に向けて現在準備を進めている。

渡辺議員

公設型学習塾の設置は、第9次総合計画に謳われているが、まだ設置に至っていない。妹背牛町の児童生徒の学習習慣の定着や学力向上の一助となるべく、公設型学習塾の検討の結果と、具体的な協議の内容（形態・ターゲット・場所・人材確保・予算規模など）の進捗状況を伺う。

教育課長

令和6年5月下旬から6月上旬にかけて保護者を対象に行ったアンケート調査では、開設に肯定的な意見が非常に多く、令和7年度予算計上に向けて現在準備を進めている。指導方法は、個別指導、オンラインでの映像指導、両方を合わせたハイブリッド指導のいずれかになる想定している。会場の候補

は学校か町民会館、時間帯は放課後を予定している。課題は人材の確保と考えている。まずは基礎学力や学習習慣の定着を目的として小学校高学年を対象に週1回の開催を考えている。

教育長

子どもたち一人ひとりの個性、特性を見つめ、それぞれに最適な方法で自ら考え、力を豊かな心を伸ばすことが必要不可欠であると理解している。昨今の民間学習塾が自治体との連携に力を入れているという時流を捉え、それをうまく活用できれば子ども



もたちに対する安定的な学習支援が可能になり、財政的な負担も抑えられるものと考え

ている。予算査定を含め、町長部局との理解、協議を深めて進めていきたい。

高校跡地をRVパークとして利用できないか

Q 高校の跡地をRVパークを中心とした観光資源として利用できないかを伺う。

A 維持管理の面や財政的に、RVパークの整備は困難と考えている。



鈴木 正彦 議員

鈴木議員

現在高校の跡地は一部が工事事務所として使われている状況であるが、

①道道深川雨竜線から西4町内をつなぐ道路についての現状を伺う。

②土地取得は利用計画を道に示してから協議になると聞いているが進展がないためRVパークを中心とした観光資源として利用できないかを伺う。



建設課長

①高校用地西側、道道深川雨竜線から南側を見て約70メートルまでは高校用地と隣接し、町有地がある。

それからさらに83メートルまでいくと、町道南2条線との交点になるが、約48メートル

の区間では高校用地の隣接地は民地となっている。また、高校用地の西側には現況で農業用排水路があるが、この排水路は現在道営事業により進められている妹背牛4区第1地区の整備対象排水路であり、令和7年度の施工予定となっている。このような状況から、道道と南2条線をつなぐ道路を計画するとした場合、排水路の東側の高校用地に最低でも6間幅の道路用地を確保する必要がある。しかし、現状では高校用地全体の活用計画がないことから、道路単独での計画は困難なものと考えている。今後、高校用地全体の活用計画を検討する段階で道路整備を含め検討することが合理的であると考えている。

企画振興課長

②高校跡地の利用については、北海道総務部行政局財産課へ提出している

道有未利用地の利用、取得希望調書の中で小中学校の建て替え候補地として報告しており、小中学校などの公共用として利用するのであれば、土地の取得費用については無

償で譲渡していただけることとなっている。

RVパークの整備を検討する場合には、費用対効果の問題や24時間トイレの整備、電源設備、料金徴収管理体制やごみの回収などの課題がある。また財政的にも、RVパークの整備は困難と考えている。

町長

妹背牛町のアピールポイントとして道道に面してい

る高校跡地を磨き上げるべきではないかという考えは理解できるが、現在の方向に動き出そうというのは財政的に非常に難しい。また、維持管理すること、それから近隣住民の住んでいるそばに造るということは非常に大きなハードルを抱えているため現時点ではそのように動くべきではないと考える。

温室効果ガス削減の取組と農業への影響について

Q 温室効果ガス削減のための取組実施に対して農業に与える影響について伺う。

A 機械導入コストが高いことが問題と考えている。また、中長期的な計画づくりも重要と考えている。



廣田 毅 議員

廣田議員

温室効果ガスを起

も顕著となり、削減に向けた取組は待たなしと言えるなか、本町においても妹背牛町ゼロカーボンシティ宣言を表明されている。過日、第1次妹背牛町地球温暖化対策実行計画が示されたが、区域施策編の温室効果ガス削減のための取組、とりわけ農業を中心

に伺う。

①スマート農業の推進について、ハード面だけでなくソフトウェアの取組も考えられるかと思う。ふるさと納税に使える副産物が出てくる可能性もあると考えるが所見を伺う。

②温室効果ガス削減のための取組実施に対して農業に与える影響をどのように考えているか伺う。

③CO2の削減米を環境に優しい米として別枠でふるさと納税の返礼品とし、JAから頂くという方法も考えられると思うが、考えを伺う。

④CO2を削減していく取組として、Jークレジットを使った水田の中干しをどうやって農家の方々に周知しながら推進していくのか伺う。



町長

①スマート農業はCO2削減につながる取組として計画に掲載している。ソフトウェアの事業については間接的な項目であるため掲載していないが、重要視しながら進めていく。労働時間の短縮を図ることで新たな作物に挑戦し返礼品を開発することも考えられるが、スマート農業の確立に長い時間を要すると考えている。バイオマスエネルギーについても検討する必要があると考えている。



②機械の導入コストが非常に高いことが問題であると考えている。また、中長期的な計画づくりも重要と考えている。JAやGNSS研究会とも協議を重ねながら今後も進めていきたい。
③特別栽培米として扱うとい

ような印象で受け取ったが、これが私たちの町のCO2削減の方向に向かう安全な、持続可能な農業、そして実際においしい、あるいは収量も上がるという可能性に関してこれからしっかりと勉強していきたい。

④町内の農家がJークレジット

本町の小中学校におけるいじめの対策について

Q 学校との連携は密に行っているか。会議はどのくらいの頻度で行っているか。

A 毎月上旬に定例校長会を開催しており、児童生徒の状況、問題行動等を報告してもらっている。



佐々木 和夫 議員

佐々木議員

近年特に交流サイト、いわゆるSNSによるいじめが増えてきている。道内で2023年度に認知されたいじめは前年比42・5%増

トについて何軒ぐらい取り組んでいるのかという調査を現時点ではしていない。それから、民間の米を扱う業者が入ってJークレジットを進めているという話も寡聞にして聞かなかったので、今後勉強させていただきたい。

②小中学校にはスクールカウンセラーと別に相談員がいるが、どのような方なのか。

教育課長

①毎月上旬に定例校長会を開催しており、児童生徒の状況、問題行動等を報告してもらっている。緊急性のある事案の場合はすぐに連絡が取れる体制もできている。

②電話相談のことであり、北海道教育委員会がいじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て、しつけなど家庭教育に関する悩みなどを子どもや保護者が相談できる窓口として開設したものの。本町の児童生徒にも相談窓口カードを配布しており、今年度も数件の利用があった。



教育長

いじめは人権侵害であるという基本的な認識に立ち、早期発見、未然防止に努めるためにも学校や家庭、そして地域、関係機関と連携していくことが極めて重要と考

える。教育委員会としては、今後いじめをなくすための

様々な取組を推進し、子どもたちの笑顔あふれる学校となるよう努めていく。

選択的夫婦別姓の考え方は

Q 選択的夫婦別姓制度をめぐる議論が世間で活発化しているが、町はどのようにお考えか。

A 選択的夫婦別姓及び同性婚の制度に関しては社会情勢などを踏まえながら慎重に検討を進めなければならぬ重要な課題であると考えている。



田中 春夫 議員

田中議員

選択的夫婦別姓について伺う。選択的夫婦別姓制度をめぐる議論が活発に行われている。日本では結婚すると夫婦の9割超は妻が夫の姓を名のっており、改姓不便利や不利益が女性に生じている。国連の女性差別撤廃委員

会は、日本政府に制度導入を促す4度目の勧告を行っており、経団連も導入を提言、世論調査では7割超が導入に賛成しており、機運が高まっている。

選択的夫婦別姓の実現や同性婚の法制化をはじめ、日本社会をジェンダー平等社会につくり変えようとしている全ての人々が今力を合わせて取り組んでいる。このようにのことについてどのようにお考えか伺う。

副町長

国は第5次男女共同参画基本計画において国際的協調の下でジェンダー平等を重要な視点と捉えており、夫婦の氏に関する制度の在り方や性的指向など多様性への理解について検討や啓発を進めることとしている。また、パートナーシップ宣誓制度を導入する自治体が増えていることから多様な性的指向など、社会における理解が深まってきているものと認識をしております。このようにジェンダー平等や多様な家族の在り方を認める価値観が広がる中、選択的夫婦別姓及び同性婚の制度に関しては社会情勢などを踏まえながら慎重に検討を進めなければならない重要な課題であると考えている。



議 会 の う ら ぎ



- 7日 消防出初式
- 10日 商工会新年交礼会
- 12日 二十歳を祝う会
- 27日 ミックスカーリング妹背牛大会
- 31日 広報特別委員会
- 30日 空知町村議会議長会定期総会



- 11日 議会運営委員会
- 17日 議会運営委員会
- 町議会第4回定例会
- 広報特別委員会



- 3日 功労者表彰式
- 6日 総合文化祭交流会
- 18日 行財政等調査特別委員会
- 22日 北空知副議長会議
- 22日 北空知議会議長連絡協議会総会

令和6年 第4回定例会 主な議案審議から

令和6年第4回定例会では、町長の行政報告、教育長の教育行政報告を行い、決算認定7件、報告1件、承認1件、人事案件1件、議案15件、意見書1件が審議され、12月17日（1日間）で閉会しました。

委員会報告

○●決算の認定●○

- ▽令和5年度一般会計歳入歳出決算認定
 - ▽令和5年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
 - ▽令和5年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
 - ▽令和5年度介護保険特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算認定
 - ▽令和5年度介護保険特別会計（サービス事業勘定）歳入歳出決算認定
 - ▽令和5年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定
 - ▽令和5年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定
- 決算審査特別委員会に付託されてきました全7会計は、いずれも委員会報告の上、認定されました。

専決処分の報告

- ▽損害賠償の額を定めること
- 事故の内容
「すまい・ル」駐車場にて対向車と車間をとるため左側に寄せた際に、スノーポールアンカーに乗り上げフロントタイヤを破損させたもの。
- 損害賠償
9,515円

専決処分の承認

- ▽令和6年度一般会計補正予算（第5号）

- 主な補正は
衆議院議員総選挙事務委託金 315万5千円追加
- 時間外手当
110万4千円追加
- 等で、歳入歳出それぞれ315万5千円の追加が承認されました。



人事案件

- ▽人権擁護委員の推薦につき意見を求めること
人権擁護委員に、高野 政弘 氏が推薦され、適任と答申されました。

特例条例

- ▽町長、副町長及び教育委員会教育長の給料月額等の特例条例

- 町長の給料月額を10%減額、副町長8%減額、教育長6%減額する特例条例。令和7年1月1日から令和7年12月31日までの適用で、原案のとおり可決されました。

条例の改正

- ▽職員の給与に関する条例の一部改正

- ▽町長等の給与等に関する条例の一部改正

- ▽議会議員の議員報酬及び費

用弁償等に関する条例の一部改正

以上3件は、原案のとおり可決されました。

補正予算

- ▽令和6年度一般会計補正予算（第6号）

- 主な補正は、
ふるさと妹背牛応援基金積立金 2億1,400万円追加
- 学校教育施設整備基金積立金 2,000万円追加
- 等で、歳入歳出それぞれ2億6,622万8千円を追加しました。



- ▽令和6年度介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第2号）

- 主な補正は、
施設介護サービス給付費 1,500万円追加

○居宅介護サービス給付費
1,300万円追加
等で、歳入歳出それぞれ2,297万1千円を追加しました。

▽令和6年度一般会計補正予算(第7号)

○議員期末手当
20万3千円追加
○予備費
20万3千円減額

▽令和6年度簡易水道事業会計補正予算(第2号)

○職員給与費
58万6千円追加
○受水費
58万6千円減額

▽令和6年度農業集落排水事業会計補正予算(第2号)

○職員給与費
21万円追加
○受水費
21万円減額

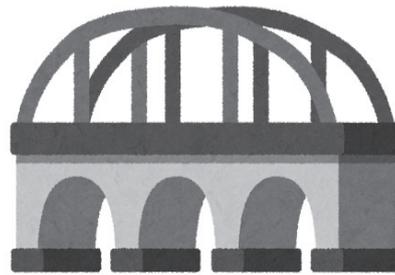
建設工事契約の変更

▽令和6年度橋梁長寿命化修繕工事(川1線橋)

設計変更が生じたため議決事項を変更するもの。

○当初契約金額
5,940万円

○変更減額分
645万7千円
○変更後の契約金額
5,294万3千円



▽令和6年度橋梁長寿命化修繕工事(桜川橋)

設計変更が生じたため議決事項を変更するもの。

○当初契約金額
8,074万円
○変更減額分
165万円

○変更後の契約金額
7,909万円

以上2件は、原案のとおり可決されました。

指定管理者の指定

▽妹背牛温泉

○指定管理者となる団体の名称
有限会社 妹背牛振興公社
○指定の期間
令和7年4月1日～

令和8年3月31日

▽老人保健施設

○指定管理者となる団体の名称
社会福祉法人 雨竜ことぶき会
○指定の期間
令和7年4月1日～

令和12年3月31日

▽デイサービスセンター

○指定管理者となる団体の名称
社会福祉法人 雨竜ことぶき会
○指定の期間
令和7年4月1日～

令和12年3月31日

▽生活支援ハウス

○指定管理者となる団体の名称
社会福祉法人 雨竜ことぶき会
○指定の期間
令和7年4月1日～

令和12年3月31日

意見書

▽将来に期待が持てる次期基本計画の改訂と現場に寄り添った農業政策の実現を求める意見書

以上の1件は、原案のとおり可決され、各関係機関に提出されました。



◎3月定例会のお知らせ◎

会 期 3月4日～13日

一般質問 3月5日

9時からの予定です

場 所 役場3F 議場

議会だよりに対する、ご意見、ご要望は

議会事務局へ

T E L 0164-34-8586 (直通)

F A X 0164-34-8587 (直通)

議会は公開されています

定例会は3月、6月、9月、12月の年4回、臨時会は必要の都度開かれます。

傍聴の方法は2つ

1. 役場3階議場の傍聴席で
2. 役場1階のモニター中継で

お気軽に傍聴してください



令和5年度 決算審査特別委員会 主なQ&A

令和6年10月16日～18日

◎総務課関係

問1

温泉施設改修事業に過疎対策事業債として9億6,680万円を借り入れしているが要望額とおりの借り入れが行えたのか？



妹背牛温泉ペペル

答1

他の事業も含め全額借り入れを行えた。

問2

電気の契約先は、以前に北電から新電力会社に変更したが、現在の契約先は？

答2

単年度ごとに高庄の電気のみ北電との比較で安価となる供給先と契約をしていたが、令和5年度から北電との契約に戻っている。

問3

生活支援ハウスすまい・ル裏の用地購入の用途は？

答3

老人保健施設りづれを中心とした福祉施設群の排雪場として購入し、除雪費の軽減を図るもの。

◎企画振興課関係

問1

公園管理運営業務委託額が前年度と変更になっているが、おおよそ同額で契約するものではないか？

答1

人件費の高騰や、業務につ

いては単価契約であり芝の管理等の業務量が年によって異なる事がある。

問2

地域活性化企業人としてDMJ.comから派遣を受けているが、その業務内容は？

答2

ペペル温泉のPR動画やWEB広告、ジングスカン商品ページなどを作成している。また、派遣にかかる費用は特別交付税で措置されている。

◎住民課関係

問1

北空知葬斎場（新火葬場）整備の進捗状況は？

答1

建設工事は順調に進んでおり、令和7年4月から新火葬場が供用開始する。

問2

近隣の介護施設閉鎖による老人保健施設りづれの入所状況は？

答2

令和6年10月現在で75人が入所しており、入院中の方も加えるとほぼ満床（80床）の状況となっている。

◎健康福祉課関係

問1

一般会計での老人福祉施設入所措置費が増えているが内容は？



答1

介護保険に該当しない方で、経済的理由等で養護を受ける事が困難な方に老人ホームへの入所措置を行っており、2名の方が入所している。

問2

子育て世代交流施設from☆Mokoの屋根修繕（173万8千円）の内容は？

答2

改修時に屋根の補修は行っていないだったので部分的な板金と塗装を行った。



from☆Moko

◎農業委員会関係

問1

農業委員の農用地利用調整にかかる費用弁償の支出状況は？

答1

費用弁償の単価は1,000円で、延べ74回の支出となっている。

◎農政課関係

問1

農業水利施設省エネルギー化補助金の内容は？

答1

国の補助事業で、改良区に対し用排水施設の電気・燃料代値上げ分の7割を補助している。

問2

就農祝金の件数は？

答2

令和5年度は無かったが令和6年度は6人に就農祝金をお渡しした。

問3

農畜産物PRはオータムフエスト等で行っているが、他での状況は？

答3

以前は、どさんこプラザで行っており、現在は、札幌駅の四季マルシェでの物販を行っている。

◎建設課関係

問1

北斗団地A棟長寿命化改修工事（4,400万円）を行っているが、他の棟の予定は？

答1

令和7～8年度で北斗団地

B棟の改修実施設計及び改修工事を行う。

問2

人口減少に伴う水道料金等の改訂の考えは？

答2

公営企業会計なので独立採算が基本だが、全額を料金に転嫁はできないので、町としてどの部分を負担するかの検討を進める。

問3

簡易水道事業会計及び農業集落排水事業会計における消費税の取り扱いはどのようにされているのか？

答3

水道使用料等でいただく消費税と建設改良事業等で支払う消費税との差し引きで納税や還付といった処理を行う。

◎教育委員会関係

問1

郷土館・総合体育館の維持補修費が年々増えているが、今後の修繕計画は？

答1

郷土館は、老朽化から雨漏りや窓枠の破損があり施設の存続も含め今後検討していく。総合体育館は令和5年度に屋上改修工事（4,642万円）を実施し、今後は玄関、アリーナ、ギャラリーの補修も必要と考えている。

問2

外国語指導助手委託の状況は？

答2

民間に派遣を委託し、小学校週3回、中学校週2回、保育所月1～2回の授業を行っている。



道外研修視察報告

令和6年9月25日～26日
千葉県鋸南町・茨城県行方市

【広報委員長 中山 義博】

令和6年9月25日（水）、26日（木）妹背牛町議会は、千葉県鋸南町、茨城県行方市で廃校になった『2つの小学校の活用』を視察研修。

はじめに、鋸南町の都市交流施設・道の駅『保田小学校』・「付属ようちえん」を視察。

鋸南町は人口6,744人、2014年3月までに小学校3校の集約を機に、2015年活用開始

①南房総の穏やかな気候
②アクセスは、東京（新宿）から電車で2時間30分、車で1時間16分、羽田空港から2時間、フェリーで1時間と立



地は良好。
③指定管理者含む平均雇用者数53名で（内、町内雇用者数26名と約半数）雇用創出、地域経済の活性化の場となっている。

④校舎棟は飲食・物販施設、簡易宿泊施設、入浴、公衆トイレ等を備え、バリアフリー配慮の駐車場等も完備されている。

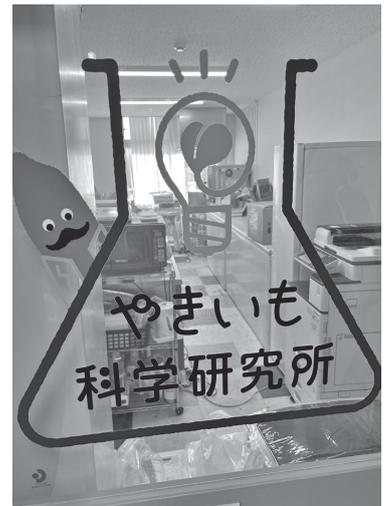
⑤全国12000の「道の駅」ランキング2位、年間100万人のよいこが訪れる施設に成長。

⑥「いつも立ち寄れば何かの学びがある」をテーマに、いつ訪ねてもワクワクとドキドキ感じられ楽しい毎日通学、心と心の交流を目指している。

道の駅『保田小学校』は、随所に町民と、町長と、校長の絆が有り妹背牛町の運営に参考に成りました。

次に行方市について。2012年に『株式会社なめがたしろはとファーム』を設立（白ハト食品、JA、農家300人が3億円を出資）

『体験型農業テーマパークとして活用』



る事から進出の検討が進められていた。学校統廃合で発生した廃校の活用を検討していた行方市がこれに加わり、「農業をステキにする」テーマパーク構想が進められてきた。

茨城県行方市は、2005年9月に麻生町、玉造町、北浦町が合併、行方市が発足。2024年11月現在、人口31,000人の市です。

①交通アクセス、東京駅から車で約80分、羽田から車で約90分

②2014年旧市立大和第三小学校を行方市から購入し設立

茨城県行方市の『らぽぽなめがたファーマーズ・ヴィレッジ』は2015年にオープン総事業費45億円、雇用205名（地元150名含む）

①焼き芋の大手（全国シェア80%の白ハト食品）は、JAなめがたから納品されたサツマイモを関西や九州で加工し全国で販売していたが輸送・コスト等を軽減出来

②学校体育館の円形の加工工場では、サツマイモ工程を窓越しに見学でき、冷凍倉庫など、驚きです。ミュージアム、レストラン、カフェを設置している。さらに周辺には、オーナー専用貸農園、クラブハウス、宿泊施設、直営農場やサツマイモ貯蔵庫等を併設した。

視察研修終えて、企画や十分な準備をした上でスタートし、絶えず、日々改善することとは勿論ですが、道の駅保田小学校の校長さん、白ハトグループのシニアマネジャーさんのパワフルな能力で信頼を得て町長、社長がバックアップすることによる繁栄の継続を見てきました。

【広報副委員長 成瀬 勝幸】

今回の道外視察研修は、廃校となった校舎の活用を目的として、2箇所視察をしました。

最初に鋸南町は、人口6,726人（令和6年9月現在）で、基幹産業は、水稲・野菜・花卉等の栽培を中心とした農業と沿岸漁業を中心とした漁業の町である。

少子化に伴い、町内に3つあった小学校を2014年から1校に集約し、2015年から廃校になった1校の校舎をリノベーションし、直売所や商業機能等を併せもった施設とし、施設を活用してコミュニティの核を作る「都市交流



施設・道の駅保田小学校」として指定管理者制度で開業している。また、雇用の創出や地域経済の活性化の場となり、大きな役割を担う施設としての効果をもたらしている。

次に行方市は、人口31,671人（令和6年9月現在）で、基幹産業は、農業で温暖な気候と豊かな大地を生かし、年間を通して80品目以上の農作物が生産されている市である。

なめがたファームビレッジは、廃校になった旧市立大和第三小学校を行方市より購入し、行方市の特産物である「サツマイモ」に関する体験型農業テーマパークである。廃校



になった小学校をリノベーションし、食品工場、ミュージアム、レストラン、カフェを設置している。更に周辺には、オーナー専用貸農園、クラブハウス、宿泊施設、直営農場やサツマイモ貯蔵庫等を併設し、廃校を中心としたエリア一体を農業のテーマパークとして運営している。廃校を活用することで、単なる製造工場にするのではなく、農業体験や新商品開発を通じて観光振興や雇用創出にも資するなど、地方創生の実現に向けた大きな廃校活用事業となっている。

少子化に伴う児童生徒数の減少等により、毎年450校



程度の廃校施設が生じていると言われているが、本町も小中学校の老朽化等に伴う建替え事業を検討しており、その廃校施設は、町にとって貴重な財産であることから、地域の実情やニーズを踏まえながら有効活用していくことで、維持管理費や公共施設の施設整備コストの縮減、地域コミュニティの維持・活性化、産業振興や雇用創出など、様々な効果が期待されていますが、中々手を挙げる企業等も少なく課題も多くあります。

今回の先進地視察研修で得られた事例も今後の町づくりの参考に生かしていければと思う。

スマホでパソコンで気軽に議会を傍聴

▶ 妹背牛町議会のYouTube配信を始めました

妹背牛町議会ではYouTubeにて定例会での各議員の一般質問を本会議終了後に公開しています。お気軽にご視聴ください。

妹背牛町議会 YouTube 検索



まわりの声



今回の『まわりの声』は、町職員40年勤務、建設課道路管理(除雪等)で貢献の松崎一二(かつじ)さん(84才)から、お話を聞きました。(お住まい1区11町内)



Q 「議会だより」読んでの感想を伺います

A 「議会だより」は、毎回拝読しています。議員さんの、『一般質問や活動』が議会だよりを通じて知る事ができます。また『主な議案審議から』は、大変解りやすく読みます。

Q 妹背牛町は住み易いですが、日頃感じていることは

A 妹背牛町に住んで、60年になります。大変住みやすい街だと感じています。

① J R 函館本線の駅、札幌市、旭川市への、交通の利便性が高く、災害が少ない街です。

② 冬は寒さ・降雪との奮闘の日々ですが、時間を見つけての家庭菜園や山菜とり・釣りなど心身ともにいい町です。

③ 『ゆるやかな見守り』、適度な安全安心なまちにしたいです。

Q 日頃感じておられる町のことに意見はありませんか？

A 妹背牛町にはイベントが沢山ありますが、

① 『笑顔でお誘い参加する』ことができるイベント(遊歩市・各祭り・夏のビールパーティ・わかち愛もせうしなど)の企画推進に日々感謝しています。

② 『温泉ペペル』が町内・外から多くの客が立ち寄って頂けるよう

更に工夫と町中の商店にも活用出来ればと思います。

③ 夏はキャンプ場「テントが張れる場所に工夫、炊事場、既存の食堂、コンビニの案内」設備箇所の併用でコスト考慮できる。(場所・トイレ・駐車場など併用する)

④ ドックラン併設(設置場所や管理)も良いと思います。

Q 妹背牛町への要望や何かお気づきの点がありますか

A ① 基幹産業の農業について、最先端技術と機械導入、圃場整備などを応援し、規模を拡大して発展に期待したい。

② 町の人口に比例して議員定数・待遇の見直しをしてはいかがでしょうか。

Q 妹背牛も活気ある未来

A 現在は町民2580人の人口の中で年々減少します。商店、農業、工業等勤務の方、若者が、(好)齢者が住みやすい、住んでいてよかったというマチづくりも大切かと思えます。農・商業後継者育成を町民のみなさんと議会でき取りあげていければと思います。

編集後記

令和7年の輝かしい新春を健やかに迎えられましたことに、心からお喜び申し上げます。

昨年は妹背牛温泉ペペルもリニューアルオープンし、サウナが好評なこともあり順調に推移しているようです。

町議会も9月に道外視察を実施し、千葉県、茨城県において廃校を利用した施設の研修をし、今後の町政の参考にしたいと思います。

12月の第4回定例町議会において、令和5年度の一般会計および特別会計の決算認定もされました。また町政に対する5名の議員の一般質問が行われました。

令和7年は巳年であり改革の年とされています。議会としても議会改革特別委員会を立ち上げましたが、議論を充分にしながら改革に向かっていきたいと考えています。今後とも議会だよりを通してながら、議会活動をお伝えできるよう努めてまいります。町民の皆様のご意見やご要望をお寄せいただきますようお願いいたします。

広報特別委員会

- 委員長 中山 義博
- 副委員長 成瀬 勝幸
- 委員 鈴木 正彦